



～あふれ出る湧き水と瑠璃色の水辺の町～

針江・霜降



JAPAN HERITAGE

日本遺産

はりっしも
Harisshimo vol.3 2016.7

針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会

湧き水と自然の町に
小さな川がある

Message

針江・霜降地域は国の「日本遺産」・「重要文化的景観」の選定を受けています。

なぜ？針江・霜降なの？！

■最近、古民家再生やリノベーションといった古い素材を活かして、自分の好きなスタイルで生活空間をつくり、自分たちの生活をエンジョイ（楽しむ）し、仕事と家庭のバランスを保ち、地域社会（コミュニティ）にも参加する若者を見かけます。いかに人生をよく生きるか、生活しやすいようにするか、その方策を決めるのがデザインという行為ですね。いま、求められているのは人間らしさを取り戻す（人間回帰）ことだと思います。

この針江・霜降を訪れる人は皆、“いい所ですね自然がいっぱいで…”“湧き水も住んでいる人も親切でいいですね”と褒めていただいている。まさに人間らしさを取り戻す（人間回帰）パワースポットの威力があるのかな！？

水のシーズン到来

これからの田舎は変わりますよ…

はりっしも探索

H Harisshimo
ほっこりスポット

B Harisshimo
びわ湖スポット



■あらためてわが町を知る

霜降区長 長谷川 廣志

「高島市針江・霜降水辺景観」として国の重要文化的景観に選定されてから、私たちはその価値や大切さを改めて知ることになりました。先人たちが残してくれた美しい水と、清らかな川の流れを維持していくため、春・夏・秋の年3回の河川大掃除と河川周辺の「ごみゼロ大作戦」を年3回行い区民総ぐるみの清掃活動をしています。また、この活動が地域の人との大切な触れ合いの場として貴重なものとなっています。

私たちの大切な財産である、水辺景観の維持・推進を次世代に継承していくため、引き続き区民の皆さんのご理解とご協力をお願い致します。

■この町に思う

針江区長 高橋 正通

「良いところですね」かばたの見学に来られた方は必ずといって良いほどこのように言われる。静かで、のどかで、人は愛想が良く親切だ。つい先日「こんな生活に憧れていました」と入区予定の若い二人が挨拶に来られた。しかし、駅までは徒歩20分。バスは1時間に1本。便利とはどうも言い難い。便利になった世の中だからこそ、便利とはいえないかばたの生活が持てはやされるのではないだろうか。

水の中で揺らぐトマトやきゅうりを見ながら、ゆっくりと時間の流れる中、不便さを楽しむ余裕を持ち続けていきたい。水との共生、究極のエコな生活を後世に伝えていくという役目もある。元気に川遊びする子どもたちはどのように感じているのだろう。

■米作りによって守られている命

水土里ネット しんあさひ
上原 和男

6月12日、針江の休耕田で生きもの観察会を開催（105名参加）させて頂きました。フナやナマズ、絶滅が危ぶまれているドジョウの稚魚が例年よりも多く見つかる等、今年も自然の豊かさを体験して頂きました。親魚は、産卵時期になると琵琶湖から川を上り、卵や稚魚が他の生きものに食べられにくいところ、即ち、田んぼや農業排水路など米作りのために人の手が適度に加わり維持されているところ（二次的自然）で産卵し子孫を増やします。それは、「かばた文化」に代表される地域独自の水環境をそこで暮らす皆さんが水とうまく付き合うために工夫され、利用することで守られている環境（二次的自然）と同じで、米作りによって守られている命が身近にあります。